

2021.02.15

みんなで翻刻サミット

事例紹介

東大・総合図書館の「石本コレクション」も みんなで翻刻

東京大学附属図書館

中村 美里

NAKAMURA

Misa



「二日はなし地震亭念魚町々庵炎上」

石本コレクションについて

- 東京大学総合図書館の所蔵資料の一つ。
- 第二代東京帝国大学地震研究所の所長である石本巳四雄（いしもと みしお,1893-1940）の旧蔵書。地震研究所と総合図書館それぞれに石本家から寄贈される。
- 総合図書館への寄贈資料には、災害に関するかわら版や鯨絵などが多く含まれている。
- 総合図書館所蔵分は、次の2つから成る。
 - 石本コレクションⅠ：折本仕立て・11冊／「地震火災版画張交帖」として所蔵／478点
 - 石本コレクションⅡ：「張交帖」に張り込まれていない104点

2008（平成20）年度附属図書館特別展示「かわら版・鯨絵にみる江戸・明治の災害情報－石本コレクションから」を開催。その展示資料目録に石本コレクションの詳細が紹介されています。

石本コレクションについて

石本コレクション I



石本コレクションについて

石本コレクション II



石本コレクションのデジタル化

- 石本コレクションI：2008（平成20）年附属図書館特別展示にあわせて全点をインターネット公開
- 石本コレクションII：2017年度の東大デジタル化事業（東京大学デジタルアーカイブズ構築事業）で全点デジタル化



- 2019年2月：「石本コレクションII」の公開にあわせて、2008年から公開していた「石本コレクションI 地震火災版画張交帖」もリニューアル
- IIIF (International Image Interoperability Framework) 対応で、「石本コレクション」
として公開
- 2018年6月～：総合図書館が公開する、著作権の保護対象ではない総合図書館所蔵資料の画像データ、関連メタデータ等は自由利用可に

石本コレクションのデジタル化

石本コレクション

<https://iiif.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/repo/s/ishimoto/>



「みんなで翻刻」の舞台へ

「みんなで翻刻」
というものが最近
流行ってるらしい

東大地震研の
「石本文庫」の翻刻を、
みんなでやってるらしい

総合図書館にも
「石本コレクション」
あるのにー！

画像は自由利用OKだし、
嗚呼、うちのも
みんなに翻刻されたい！



「みんなで翻刻」の舞台へ

「みんなで翻刻」2019年7月22日のリニューアルにあわせて、
東大・総図の石本コレクションも翻刻対象に！

ー リニューアルの概要

- デジタルアーカイブの国際標準規格IIIF（※2）に対応しました。国立国会図書館や国文学研究資料館など、さまざまな機関が公開するデジタル史料を「みんなで翻刻」で扱うことが可能になりました。
- 今回のリニューアルでは、ユネスコ世界記憶遺産にも指定されている「東寺百合文書」や、東京大学附属図書館が所蔵する地震史料のコレクション「石本コレクション」を公開し、市民と協働で翻刻を進めます。翻刻されたテキストはオープンデータとして公開され、歴史研究や科学研究に役立てられます。
- AIによる「くずし字」の自動認識機能を搭載しています。凸版印刷株式会社が開発したくずし字認識システム（※3）、および人文学オープンデータ共同利用センター（ROIS-CODH）が開発したくずし字認識システムを利用できます。「くずし字」に慣れない初心者でも、AIの支援を受けながら翻刻作業に参加することができます。

※1 みんなで翻刻 <https://honkoku.org>

※2 International Image Interoperability Framework (IIIF). デジタルアーカイブの画像データ公開の国際標準形式。

※3 凸版印刷が国文学研究資料館との共同研究を通じて開発。システム構築にあたり、一部学習データとして国文学研究資料館が日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画の一環として制作した字形データセットを使用しています。

Yeah !



展示図録の公開に向けて

しかし、ちょっと待て・・・

- 展示図録「かわら版・鯰絵にみる江戸・明治の災害情報－石本コレクションから」には41点分の解説と翻刻が掲載されている
- それなのに翻刻作業をしてもらうのは申し訳ない＆41点分の翻刻データがあれば、その他の資料を翻刻するときの参考になるはず！
- 展示図録を執筆いただいた先生方に連絡をとり、展示図録の公開及び解説・翻刻のテキストデータ公開（利用条件：自由利用可）についてご相談 → 全員からすぐに御快諾をいただく

- 北原糸子 先生 立命館大学歴史都市防災研究所
- 白石睦弥 先生 花巻市博物館
- 富澤達三 先生 松戸市立博物館
- 西山昭仁 先生 地震火山史料連携研究機構
- 湯浅淑子 先生 たばこと塩の博物館

ありがとうございます



展示図録の公開に向けて

The screenshot shows the UTokyo Repository interface. At the top, the logo "UTokyo Repository" is displayed with the text "東京大学学術機関リポジトリ" below it. Navigation links include "トップページ", "検索", "コンテンツ募集中", "オープンアクセス", "より詳しく", and "カテゴリごと". Below these, there's a search bar with a magnifying glass icon and a "検索" button. A sidebar on the left lists various departments and faculties. The main content area shows a list of items, with the selected item being "ishimoto_exhibitioncatalog.pdf". The item details include the file name, license (Creative Commons BY), and a download button. The item type is listed as "図書 / Book" and the language is "日本語".

- 展示図録はUtokyo Repository上で公開

<http://hdl.handle.net/2261/00078936>

展示図録の公開に向けて

- 各画像の公開ページで、解説と翻刻テキストデータを公開
- 解説はメタデータの1つとして、翻刻テキストデータはRTF形式で提供

The screenshot displays a web browser window with a document page. On the left, a sidebar contains metadata for a document titled '地震けんて' (Earthquake Investigation). The metadata includes: 資料分類 (Document Classification) as '総絵' (General Picture), 年月日 (Date) as '安政2年10月2日' (October 2, 1849), 印刷分類 (Printing Classification) as '木版(多色)' (Woodblock (Polychrome)), 縦×横 (cm) (Vertical × Horizontal (cm)) as '37×25.5', 備考 (Remarks) as '同資料：II-01-019（解説と翻刻テキストデータあり）' (Same material: II-01-019 (Explanation and Transcribed Text Data available)), and 資料解説 (Document Explanation) as a paragraph of text.

The main text area on the right shows a transcription of the document's content, which is a Japanese text transcription of a historical document. The text is written in a vertical format, reading from right to left. The transcription includes the title '地震けんて' (Earthquake Investigation) and the date '37.0×25.5cm (1-02-084)'. The text describes the earthquake of the second year of the Ansei era (1849) and the subsequent investigation. It mentions the earthquake's intensity, the damage to the city, and the investigation's findings. The text is transcribed in a way that preserves the original's structure and content, including punctuation and line breaks.

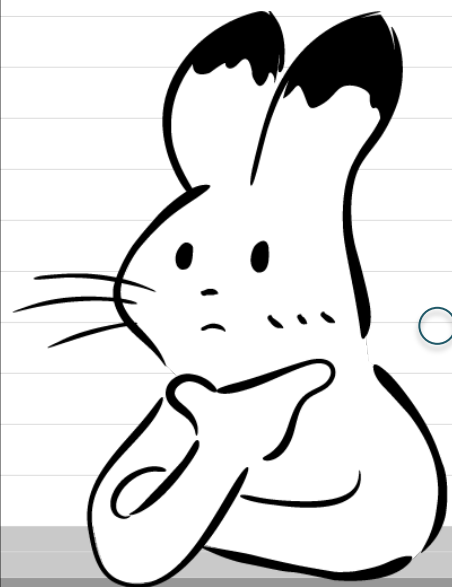
展示図録の公開に向けて

- 数点ですがアノテーション形式でも提供
(ROIS-DS人文学オープンデータ共同利用センターのIIIF Curation Viewerを活用)



「みんなで翻刻」との連携

そういえば、みんなで翻刻
してもらっているけど、
こちら側は何もできていない・・・



「みんなで翻刻」との連携

- というわけで2月4日から、「みんなで翻刻」で「翻刻完了」となっている資料については、「みんなで翻刻」へのリンクを設置しました

年月日	安政2年10月2日
印刷分類	木版(多色)
縦×横 (cm)	24×35.5
みんなで翻刻	https://honkoku.org/app/#/transcription/112DBD0DF09F64EEC5B11908CFC21C77/1/

- メタデータの1項目として追加
- 1クリックで、この作品の翻刻ページへ遷移します

これからの連携

東大総合図書館には、まだ多くのデジタル化資料があります！

でも、翻刻テキストデータがあるのは僅か．．．

『直江状』

『明・弘治十八年八月二十日勅命』

『Fragment of an Address to the Jews』



【総合図書館】石本コレクション

地震研究所所長であった石本巳四郎が収集した、災害関係のかわら版や雑誌等の資料群です。
（旧公開サイト名「地震火災版画伝交帖」）



【総合図書館】森鷗外文庫
森鷗外文庫入本画像データベース

森鷗外の旧蔵書である「森鷗外文庫」のうち、森鷗外自筆の写本や、森鷗外本人による書き込みなどがある資料です。



【総合図書館】阿蘭陀加比丹参子等之図

1817（文化14）年に島田オランダ館に赴任した館長長ヤン・コック・プロムホフ一家を描いた絵画作品です。



【総合図書館】露亭文庫

明治期の小説家であり新聞記者でもある渡辺露亭の旧蔵書「露亭文庫」で、江戸時代の小説類と演劇書を中心としたコレクションです。



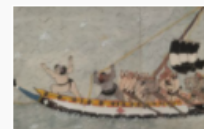
【総合図書館】亀井文庫ピラネージ画像データベース（版権版）

総合図書館の貴重図書である亀井文庫『ピラネージ版画集 Opere di Giovanni Battista Piranesi, Francesco Piranesi e d'altri』の画像に加え、地図検索や主題検索などが行える多機能データベースです。



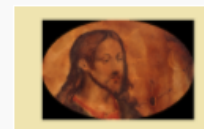
【総合図書館】亀井文庫ピラネージ画像データベース（シンプル版）

総合図書館の貴重図書である亀井文庫『ピラネージ版画集 Opere di Giovanni Battista Piranesi, Francesco Piranesi e d'altri』の画像とメタデータをシンプルに提供するデータベースです。



【総合図書館】肥後野添遠藤之図

博物学者である田中芳男氏（1838年-1916年）が、3種類の捕鯨図を貼り合わせて作成したと言われる資料で、鯨のほか、サメやマンボウなども描かれています。



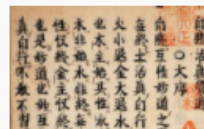
【総合図書館】救世主像

総合図書館の貴重図書であり、安土桃山時代の頃に日本で描かれたとも言われているキリスト像です。



【総合図書館】東京大学総合図書館所蔵『源氏物語』

総合図書館の貴重図書であり、青洲文庫の一点として所蔵されている『源氏物語』の写本です。



【総合図書館】熊本『自然真実』

熊本大学で所蔵していた安藤昌益（1703-1762）の『自然真実』は大部分が関東大震災で焼失しましたが、熊本に保存された



【総合図書館】享明律法事類集

享明律法事類集（享明の律法）に基づき法令や先例を事案ごとに分類してまとめた貴重な写本で、当館以外には京都府立総合資料館に所蔵されています。



【総合図書館】『三十六歌撰』

藤原公任の『三十六歌撰』に選ばれている歌人の和歌から一人一首ずつを選び、その歌人名と和歌について、木田孝徳氏が

これからの連携

今後も様々な連携 & 情報共有が
できれば！



鯨之雛討



ちょぼくれちょんがれ